

伝えたいこと

校長 遠藤 玲

校舎に子どもたちの笑顔と明るい声が戻ってきました！2学期がスタートです！
夏休み中、大きな事件事故の報告もなく、こうして新たな節目を迎えることができました。
コロナ禍での新しい学校の生活様式を踏まえた「学校生活」は続きますが、子どもたち一人一人が1学期よりも「一歩前に」成長する2学期になるよう教職員一同努めてまいります。
これまで同様のご支援ご協力をよろしくお願いいたします。

□コロナに負けない！「学びを止めない」ための今できる行動を！

おかげさまで市内教職員のワクチン接種2回目がほぼ終了しています。しかし、新型コロナウイルス感染症の猛威は止まらない状況です。家庭内感染や小・中学生の感染者の増加傾向はとても心配です。本市においても、2学期すでに学級・学年閉鎖の対応を図った小・中学校もあるようです。「健康観察、うがい・手洗い、マスク着用」、「体調不良時の休養」を繰り返しになりますが徹底をお願いします。これらの今できる取組を積み重ねることが子どもたちの学び（活動）を止めない、ことにつながります。北海道や本市の感染状況、本校の健康状況等によっては、教育活動をさらに制限しなければいけません。万が一、感染の疑いがある場合には、躊躇せず必ずお願いします。加えて、感染症に関する差別や偏見は絶対にあってはなりません。

「今できる予防対策を確実に、そして、万が一、陽性になってもお互いさま」です。

□東京オリンピック・パラリンピック2020～何かに打ち込む姿って、カッコイイ！

夏休み中には、多くの時間をテレビを通じてご覧になったのではないのでしょうか？私もその1人で、前回の1964年東京大会は生まれてもいなかったもので、それほど貴重なものです。

コロナ禍での開催、相次ぐ関係者の辞任等と、人それぞれ思うことや考えることは違うかもしれません。私が強く思ったこと・・・アスリートの競技に打ち込む姿、そして成果を上げたときの表情って、「最高にカッコイイ」と強く思いました。24日からはパラリンピックが開幕しますが、とっても楽しみにしています。私はパラアスリートの皆さんを尊敬しています。

□仙台フィルハーモニー管弦楽団が来校～プロって、やっぱり凄い！

7月13日本校に仙台フィルハーモニー管弦楽団の皆さん総勢63名（スタッフを含む）が来校してくれました。本校は北海道でたった5校のうちの1つに選ばれたのです。どうして選ばれたのか？事前及び当日の運営を担ってくれた吹奏楽部顧問三上教諭、音楽科柳澤教諭の人脈や実績かもしれません。

音楽には全くセンスのかけらもない私でも、プロの演奏の違いを大いに実感できました。できれば、保護者の方にも案内したいところでしたが、体育館収容300名程度ですので、無理を言って演奏についても2回に分けて行ってもらったしだいで。

吹奏楽部の生徒は、きっと目指すものが明確になり、音楽に興味がなかった子どもたちも、新たな刺激を受けた50分でした。「やっぱり、プロって、凄い」人を感動させる力を持ち合わせているように感じました。プロフェッショナルの姿を身近で見て・聴いて、感じる、このような貴重な機会、もっともっと増やしていけ

たらと思っています。

(川田 萌生徒会長(3年)が代表しての感謝の言葉を伝えました。全国各地を講演している仙台フィルハーモニー管弦楽団ですが「今までで1番の感動の言葉」と絶賛されました)

□本校の課題「不登校」について、思うこと……学校としてできることは？

私は本校に赴任して2年目になりますが、明倫中学校はとっっても落ち着いています。生徒たちは、様々な教育活動に対して、真面目に取り組んでくれます。地域や高校等の来校した方々からは、そんな姿にお褒めの言葉をいただいています。自慢できる生徒たちです。

しかし、全校生徒337名の全員出席は記憶にありません。昨年も同様でした。病気や入院、コロナ感染予防等、欠席の理由は様々ですが、最も心配なのが「学校や学級に不適應」による欠席です。勉強のこと、友達のこと、教師のこと等、それぞれが何らかの不安や行きづらさが原因で「学校に行かない(行けない)」という行動を選んだと想像します。校長として、当該生徒や保護者の皆さんには申し訳ない気持ちです。興味関心や魅力のない、安心できないところに人は行きません。この事実は真摯に受け止めなければいけません。担任教諭も時間を惜しまず家庭訪問を繰り返したり、学校としてもステップアップ教室を開設したり、改善の糸口をつかもうとしています。今、学校が大きく変わらなければいけない時代であり、「正解が一つではない時代」、「先が見えない時代」なんて言われています。学校として、生徒一人一人にとって、最も身近な大人の我々が、将来社会の担い手になってもらわなければいけない子どもたちに「何ができるのか?」そんなことを考えながら、2学期改めて「時代に応じた学校づくり」・「課題解決が図れる学校づくり」を模索していきます。そこには、前例踏襲(これまでと同様)にとらわれない、生徒を起点にした教育活動の展開です。

令和3年度 学校祭について

〈開催日〉

9月10日(金) 給食あり

〈テーマ〉

『 英雄 (えいゆう) 』

〈内容〉

各学年とも、造形制作と演劇発表になります。

〈参観について〉

- 北海道については、緊急事態宣言が9月12日まで発出されています。そのため、本校は、感染リスクの軽減及び感染防止の観点から、保護者の皆様の参観はご遠慮いただくことをご理解願います。
- 学校祭の様子につきましては、2学期に予定されている懇談会等で、映像にて紹介いたします。

大会等の主な結果

【サッカー部】 ライオンズクラブサッカー中学生大会 準優勝

【水泳部】 全道中体連水泳大会 女子200m背泳ぎ 第2位・女子100m背泳ぎ 第3位 ○○○○

【相撲部】 全道中体連相撲大会 男子個人戦 決勝トーナメント惜敗 ○○○○

【吹奏楽部】 日胆吹奏楽コンクール B編成 金賞(全道大会進出)

【卓球部】 全道中体連卓球大会 女子団体 ベスト8

男子シングルス 3回戦惜敗 ○○○○

女子シングルス 2回戦惜敗 ○○○○ ○○○○

【剣道部】 全道中体連剣道大会 女子個人 第3位 1-1 ○○○○

【野球部】 近畿日本ツーリスト杯 第3位 (凌雲中・緑陵中と合同チーム)

【体操部】 全道中体連体操競技大会 二部女子個人総合 6位 3-1 ○○○○